

# 人権啓発センター だより

平成26年1月  
No.1

(公財) 高知県人権啓発センター



## ごあいさつ

公益財団法人高知県人権啓発センターは、同和問題をはじめとするあらゆる人権に関する問題について、県民の皆様の理解と認識を深め、その解決を図るための多様な研修・啓発等の事業を行っています。

こうした事業の詳細や、所蔵している図書・視聴覚教材をはじめとして、私どものセンターが持っている人権問題に関する様々な機能や役割について、もっともっと県民の皆様を知っていただき、気軽に私どものセンターをご利用いただきたい、という思いから「人権啓発センターだより」を発刊することとしました。

ささやかな広報冊子ではありますが、人権に関する理解と認識が深まっていくことを願いながら編集を重ねてまいりますので、どうかよろしくお願いします。

(理事長 吉岡 和夫)



## 人権あれこれ

12月は10日が人権デー、4日から10日が人権週間ということもあって、世界人権宣言<sup>(※)</sup>のことが話題になる月でもあります。世界人権宣言に書かれている内容はとても大切なのですが、それを知らずにいる人々が少なくありません。

もし自分を含め、すべての人がどのような権利や自由を持っているのかを知らないでいると、二つのことが問題になってきます。第一は、仮に自分自身の人権が侵害されて

も、気づかなかったり、あきらめてしまったりして、自分をかけがえのない個人として本当に大切にすることができなくなってしまう。第二には、自分が、他の人の尊厳や価値をふみにじる人権侵害の加害者になってしまう恐れがあるのです。

世界人権宣言の内容をしっかりと読み、理解する事は、すべての人にとって大変重要なことだと思います。

(事務局長 福田)

※ 世界人権宣言 1948年12月10日、フランス・パリで開かれた第3回国際連合総会で「あらゆる人と国が達成しなければならない共通の基準」として採択されました。すべての人間が生まれながらに基本的人権を持っているということを、初めて公式に認めた宣言です。



# じんけんライブラリー

## 一押し本

### 「津軽の声が聞こえる」

詩／桜井哲夫 写真／鰐山英次  
ウインズ出版 (3, 200 円)

「しがまっこ(氷)が溶けたら、帰ってこれるから」と最愛の母に見送られ17歳で国立療養所に入所した桜井哲夫。目が見えず、ペンを持つ手までハンセン病に奪われた哲夫が、いつかふるさと津軽に帰りたいと願って書き綴った詩と、美しく厳しい津軽の自然をあますことなく撮った鰐山の写真との出会いは、もうそれだけで感動。一押しの詩集を貴方に。

(研修講師 岡村)



## ちょっといい話

「60歳のラブレター2」NHK出版より

不況の波に苦しむあなた。ある晩、あなたに「若い頃勤めてた、あの会社。辞めずに続けてれば良かったのかもね。そしたら今、こんな思いをすることもなかったのにね」と言ったら、当然うなずくと思ったあなたは、私をジッと見て、それからこう言った。「そうは思わないよ。そうしてたら、お前と知り合うことはなかったからな」。私は胸を衝かれ、涙がこぼれた。そして、あなたの気持ちが私の胸を温めた。がんばろうね、あなた。きっと、いい時が来るから・・・。

あなたは今、ガンと心臓病で寝たきりの病人。その上、左足切断という三級の身障者で、介護する私に「大変でしょう」と周囲の人は言います。でも私は、人が思うほど苦労だなんて思わないの。だってあなたは、娘時代、肺を患い失恋した私を病気が治ってから妻にしてください、いわば命の恩人なんだもの。鉄鋼技術者のあなたは眩しいくらいすばりしかったわ。二人とも半人前のからだで、会社の給料は安く、二人の子どもを育てるのに大変だったけど、あなたが私の恩人だったから頑張れたの。ありがとうね。生きることに遠慮なんかしないでね。



## 事業報告

### ピックアップ

### スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業を開催しました



スポーツ組織と連携・協力した人権啓発活動事業は、いじめなどの身近な人権問題に県民が関心を持ち、理解と認識を深めるため、プロ野球 四国アイランドリーグ「高知ファイティングドッグス」と連携・協力して人権啓発活動を行うことを目的とした新規事業です。

今年度は冠試合として、6月23日（日）に「子どもの人権サポーター

ゲーム」、7月19日（金）に「女性の人権サポーターゲーム」として、グラウンド内で横断幕を掲出しての人権啓発アナウンスを行い、試合観戦者に対しては人権啓発うちわ、人権啓発トレーディングカードを配布しました。「野球を見ながら人権について考える」という啓発は親しみやすく良い取り組みであると、多くの観戦者のみなさんから好評をいただきました。

（企画啓発課 竹村）

### ピックアップ

### 第17回じんけんふれあいフェスタを開催しました

じんけんふれあいフェスタを今年も高知市中央公園で、12月8日（日）に開催しました。

じんけんふれあいフェスタは、私たちの周りにある様々な人権問題について、県民が関心を持ち、理解を深めることができるよう12月4日から10日の人権週間



にあわせて、明るく楽しい内容で、県民の人権意識の高揚を図ることを目的に開催しています。

イベントは、ステージでは子どもたちの発表・キャラクターショー・団塊世代のジャズ演奏・杉山清貴のコンサートがあり、また風船や花で飾られた会場内では、大道芸のパフォーマンスショーやスタンプクイズラリー、啓発・体験小間、うまいもの市・子ども広場等盛りだくさんの内容でした。

当日は晴天に恵まれ暖かく、来場者はあふれるほどで、多くの老若男女の方々にイベントを楽しんでいただくことができました。

（企画啓発課 國松）



# Information お知らせ



## イベント紹介

### ミニ番組「心呼吸しよう」

この事業は、各市町村で開催される人権啓発の取り組みやセンターの事業等を素材にした5分間のミニ番組を制作して放送するものです。  
(放送局：KSSさんさんテレビ)

#### <第8回>

- 日時 1月26日(日) 17:25~17:30 再放送 1月27日(月) 11:20~11:25
- 内容 「デートDV」をテーマに、法務局人権擁護委員の吉川葉子さんが県内の高校生を対象に行った講演会の様子を紹介します。

#### <第9回>

- 日時 2月23日(日) 17:25~17:30 再放送 2月24日(月) 11:20~11:25
- 内容 今年度の6月から毎月放送された、全8回の放送分をふりかえりながら総集編として放送します。第3回の8月放送分では、当センターの新規事業である、プロ野球 四国アイランドリーグ「高知ファイティングドッグス」と連携した、人権サポーターゲームの様子が紹介されています。他にも、ノーマライゼーション、子どもの虐待を防ぐ、女性の視点に立った地域の防災活動、セカンドライフの充実など、いろんなテーマの放送を行いました。過去の放送分を見逃した方は、KSSさんさんテレビのホームページをご覧ください。

(研修啓発課 谷脇)



## じんけんライブラリー 利用案内

図書、視聴覚教材の貸し出しを無料で  
行っていますのでぜひご利用ください

#### ■ 図書

1人5冊以内で、期間は2週間以内です。

#### ■ ビデオ・DVD

1人2巻以内で、期間は2週間以内です。

※ 直接来所できない場合は送付もいたします。  
(送料は利用者のご負担となります)



## ホール案内

各種研修会等にご利用ください

#### ■ 収容人員

270名(机を使用する場合は180名)

#### ■ 設備

放送設備、スクリーン、冷暖房

#### ■ その他

使用料、利用時間等についてはHPでご確認ください。

#### 問い合わせ先

〒780-0870 高知市本町4丁目1番37号

公益財団法人 高知県人権啓発センター

E-mail : center@kochi-jinken.or.jp

TEL 088-821-4681 FAX 088-821-4440

HP : <http://www.kochi-jinken.or.jp>